

# デジタル田園都市国家構想推進交付金

## 令和 4 年度事業に関する検証

【デジタル実装タイプ】（内閣府地方創生推進室）

●デジタル田園都市国家構想推進交付金【デジタル実装タイプ】（内閣府地方創生推進室）

事業概要・目的	デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けて、 ・他の地域等で既に確立されている優良なモデル等を活用して実装の取り組み（TYPE1） を行う事業に取り組む地方公共団体に対し、その事業の立ち上げに必要なハード、ソフト経費を支援するもの。
---------	---

交付金対象事業	概要
オンデマンド交通システム 導入事業	路線バス運行地域ではあるものの丘陵地でありバス停まで高齢者が移動することに困難が伴う、運行本数が限定的である、といったデメリットを解消し、タクシーよりも安価に利用することができる交通モードが望まれている地域の課題解決のため、AIオンデマンドバスを導入する。 定時定路線のバスよりも乗降ポイントが多く、時間に縛られない利便性の高さと、タクシーよりも安価で利用できるというメリットをもつAIオンデマンドバスの導入により、現在の交通不便地域における買い物や通院等日常生活の移動を将来にわたり支えていく。

●目標値（R4年3月末申請時点）

KPI（成果目標）	単位	R4年度 （1年目）	R5年度 （2年目）	R6年度 （3年目）
AIオンデマンドバス年間利用者数	人	7,566	15,172	20,235
AIオンデマンドバス乗合率	人／便	1.1	1.3	1.5
バスを使って一人で外出している高齢者の割合	%	10	13	15

●実績値（R5年3月末時点）

KPI（成果目標）	単位	R4年度 （1年目）
AIオンデマンドバス年間利用者数	人	1,794
AIオンデマンドバス乗合率	人／便	1.2
バスを使って一人で外出している高齢者の割合	%	16

●実績（R5年3月末時点）

交付対象事業	主な取組内容・評価（令和5年3月末時点）
オンデマンド交通システム 導入事業	・車両3台を購入、運行事業者決定後のトレーニングの実施 14人乗りの車両を10人乗りに改造し、のりーと専用ラッピングを施した車両を購入。納車後にエリア内での乗務員トレーニング、接遇研修等を実施し、安全安心な運行に寄与した。 ・花鶴・日吉台・美明地区において地域協議会を開催（5月、8月） 令和3年度から引き続き、高齢化率が高く、丘陵地でありバス停まで高齢者が移動することに困難が伴う地区において住民の意見をもらう地域協議会を開催。運行区域や、乗降場所、運賃の設定、目的地となる場所の協議等を実施した。 ・古賀市地域公共交通会議を開催（6月、9月、2月） 運行開始に際して、学識経験者、交通事業者、市民等で組織する附属機関において、協議を実施した。乗降場所については、当会議の協議を調えたのち、公安委員会等の審議を経て正式に決定。 ・AIオンデマンドバス説明会を開催（9月～3月の随時） AIオンデマンドバスの概要、使用方法、アプリインストール支援等、運行エリア及び市のイベントにおいて説明会を開催。アプリへの抵抗感が強い高齢者にも、アプリインストールまで支援、試乗会等も併せて実施することで、利用へつなげることができた。 引き続き、地域で説明会を行うとともに、新規登録者を利用につなげる啓発、エリア、乗降場所の増設等、利便性の向上に向けた取り組みを行っていく。



写真1：「のりーと古賀」車両



写真2：「のりーと古賀」試乗会



写真3：「のりーと古賀」乗降場所マップ